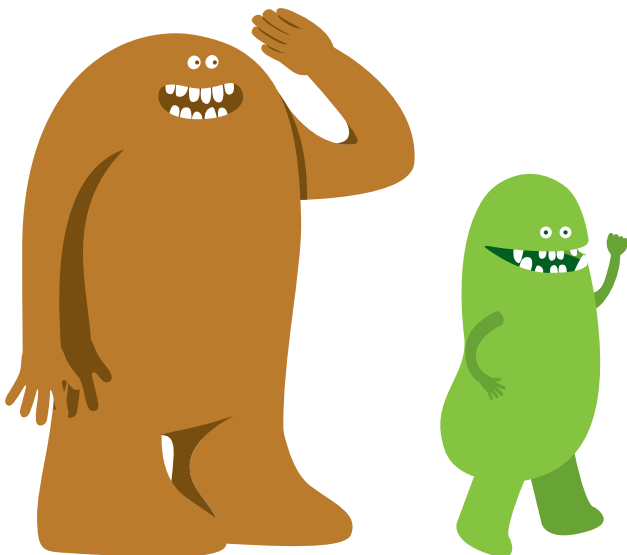


# Nabtesco

第19期 通期  
**ナブテスコ通信**

2021.1.1—2021.12.31



証券コード：6268

# 長期ビジョンの実現に向けて 取り組みを進めていきます



代表取締役会長

寺本 克弘

代表取締役社長

木村 和正

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々やそのご家族の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々にお見舞い申し上げます。

さて、このたび当社は、木村和正を代表取締役社長とする新経営体制をスタートいたしました。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2021年度は、当社設立以来最高の売上高、 営業利益となりました

2021年度の当社グループの業績は、2020年度に引き続き国内外で移動制限の影響により、鉄道車両用機器や航空機器で需要の減少があったものの、精密減速機および建設機械向け油圧機器の高い需要等により、連結売上高2,998億2百万円、営業利益300億1千7百万円と、いずれも当社設立以来最高となりました。また、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの持分法適用除外に伴う評価益等を計上したことにより、税引前当期利益は1,019億6千6百万円、親会社の所有者に帰

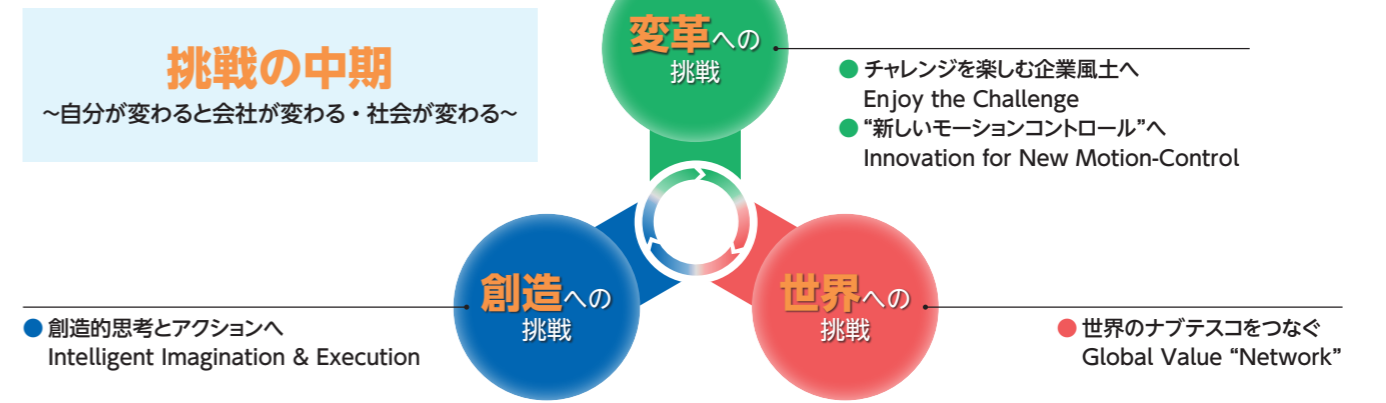
属する当期利益は648億1千8百万円となりました。

セグメント別に見ますと、コンポーネントソリューション事業では、精密減速機の需要が、自動車産業を中心とした産業用ロボット向けに加え、工作機械や半導体製造装置などの一般産業向けも拡大しました。建設機械向け油圧機器は、中国市場で上半期の高い需要により過去最高の売上であったことに加えて、欧米や東南アジア市場が回復しました。トランスポートソリューション事業では、鉄道車両用機器や航空機器の需要は減少しましたが、商用車用機器および船用機器は国内外で堅調に推移しました。アクセシビリティソリューション事業では、プラットフォームドアが国内鉄道事業者の投資先送りの影響を受けましたが、建物用ドアは国内外で堅調でした。その他、包装機は、国内での外食産業の不振はあったものの、海外での需要が増加しました。

## 新しい中期経営計画を策定しました 「挑戦の中期～自分が変わると会社が変わる・ 社会が変わる～」

当社は、2021年2月に、2030年に向けた長期ビジョン「未来の“欲しい”に挑戦し続けるイノベーションリーダー」を掲げ

### 新中期経営計画【基本方針】



ました。また、当社の企業理念「独創的なモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供する」を踏まえ、長期ビジョンの実現に向けて、本年度を初年度とする3カ年の新しい中期経営計画「挑戦の中期～自分が変わると会社が変わる・社会が変わる～」を策定しました。この中期経営計画では、「変革」「創造」「世界」への3つの挑戦を基本方針としています。

「変革への挑戦」では、チャレンジを楽しむ企業風土への変革を進めるとともに、新しいモーションコントロールに向けて、デジタル技術のさらなる活用、電動化、システム化による新しい価値の創出・提供に取り組めます。

「創造への挑戦」では、外部とのコラボレーションを推進し、新しいビジネスモデルの創造・構築に努めていきます。

「世界への挑戦」では、世界全体でナブテスコの人材や技術の有効活用を目指し、グローバル経営体制の再構築を進めます。

加えて、成長に向けた投資を執行し、積極的な研究開発も行っていきます。この投資の一つが、2022年秋に静岡県浜松市で着工を予定している、精密減速機の新工場建設です。新工場では、最先端の物流システムや高効率・自動化設備の導入に加え、デジタル・人工知能を駆使したスマート生産を実現するとともに、最新の省エネ、創エネ技術の活用などを通じてカーボンフリー工場を目指します。また、災害時のインフラ

や緊急避難所の確保により隣接地域にも安全・安心を提供していきます。

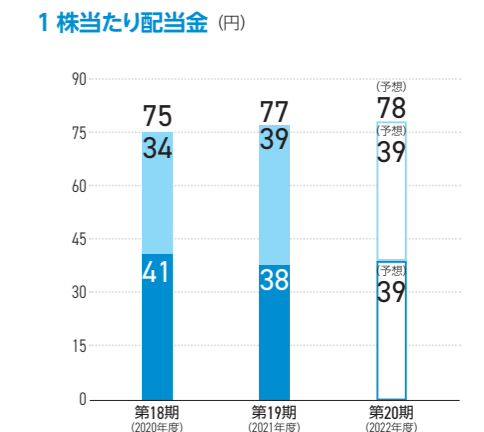
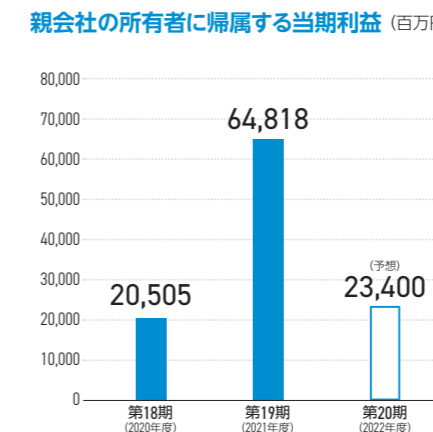
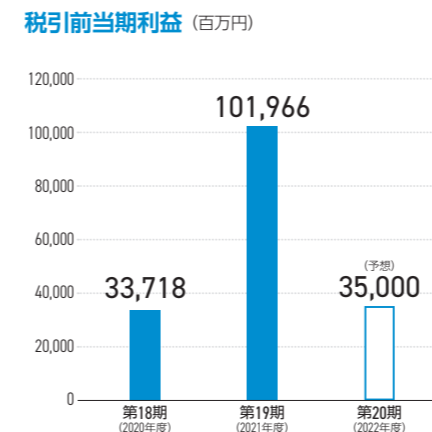
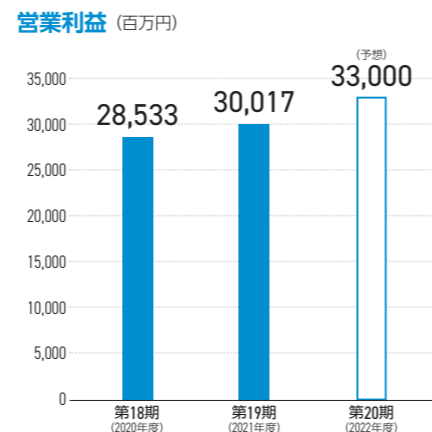
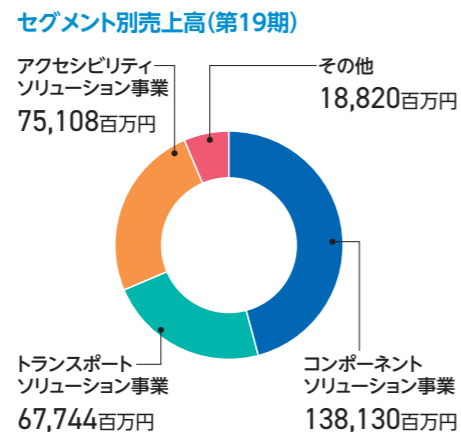
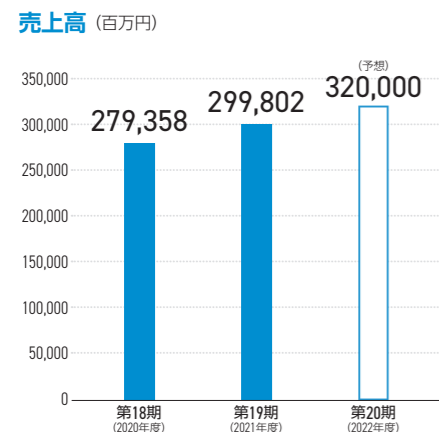
## 2022年度も、成長を継続します

2022年度に入り、地政学的なリスクの高まりなど、世界的に先行き不透明感が強まる状況にありますが、当社の事業分野においては、引き続き産業用ロボット向け精密減速機の高い需要が見込まれるほか、国内外でパウチ包装の好調な需要を見込みます。またトランスポートソリューション事業ではコロナ禍の低迷を脱し、緩やかな需要回復を見込んでいます。以上から、2022年度の連結売上高は2021年度比6.7%増の3,200億円を、また営業利益は同じく9.9%増加の330億円を計画しました。

また、新中期経営計画では、前中期経営計画に引き続き、連結配当性向35%以上とすることを目標としており、2022年度の1株当たり配当金は、中間39円、期末39円の計78円、連結配当性向は40.1%を計画しています。

当社は、中期経営計画を着実に推進し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも長期にわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



※第19期(2021年度)実績において「税引前当期利益」および「親会社の所有者に帰属する当期利益」が大きく増加しているのは、同期に株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの持分法適用除外に伴う評価益等を計上したことによるものです。

# コーポレートデータ (2021年12月31日現在)

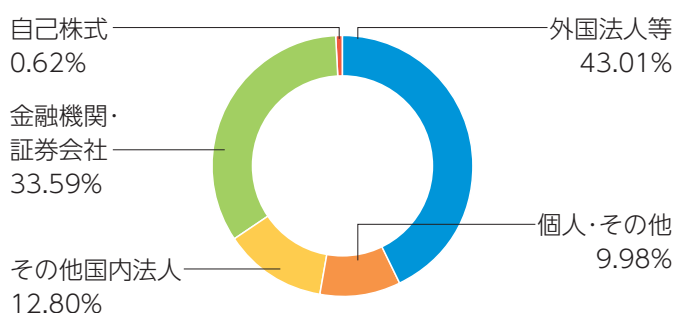
## 会社概要

会社名	ナブテスコ株式会社
設立	2003年9月29日
資本金	100億円

## 株式の状況

発行済株式の総数	121,064,099株
株主数	21,972名

## 所有者別株式数比率



## 役員 (2022年3月24日現在)

代表取締役会長	寺本 克弘
代表取締役社長	木村 和正
取締役	北村 明義
取締役	波部 敦
取締役	藤原 利也
社外取締役	内田 憲男
社外取締役	飯塚 まり
社外取締役	水越 尚子
社外取締役	日高 直輝
社外取締役	高畑 俊哉
常勤監査役	菊池 賢一
常勤監査役	清水 功
社外監査役	佐々木 善三
社外監査役	長坂 武見
社外監査役	平井 鉄郎

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当  
毎年12月31日  
中間配当  
毎年6月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
0120-782-031(フリーダイヤル)  
受付時間：平日9:00~17:00

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について  
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座で管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

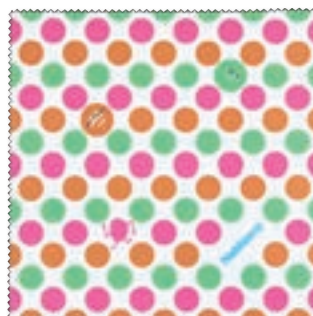
■ お受取りになっていない配当金について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 「配当金計算書」について  
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告の際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社で行われますので、確定申告の際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認ください。また、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」をお送りしております。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

## アンケートにご協力ください。

今後のIR・SR活動の充実のため、株主の皆さまにアンケートをお願いいたします。締め切りは**2022年5月6日**(ハガキの場合は必着)です。

ハガキかアンケートサイトからご回答いただけます。  
<https://smartweb1.eventissimo.jp/>



抽選で  
**300名様に**  
当社ノベルティ  
(スマートフォンクリーナー)  
をプレゼント

※発送は、7月上旬以降を予定しております。

## ■ウェブサイトのご案内

ウェブサイト  
<https://www.nabtesco.com>



## ■公式SNSのご紹介

YouTube  
<https://www.youtube.com/user/NabtescoPromotion>



Facebook  
<https://www.facebook.com/Nabtesco.corp/>



Twitter  
[https://twitter.com/Nabtesco\\_corp](https://twitter.com/Nabtesco_corp)



**ナブテスコ株式会社**

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号

